

# 宿縁

二月号

千葉県市川市国府台五丁目二十六番三十九号

浄土真宗

本願寺派

## 中原寺

TEL 〇四七-三七二-〇二九二  
FAX 〇四七-三七二-〇二六二

### 見上げてごらん 夜空の星を



今、明け方東の空に二つの大きな星が輝いています。明るい方が金星で暗い方が木星です。地球人ははるか昔から天体を眺めて夢想を膨らませてきました。そして今日科学技術の発達は多くの謎の解明に向けて歩みを進めています。

最近の関心は2014年12月に日本が打ち上げた探査機「はやぶさ2」が小惑星「りゅうぐう」に昨年末に到達し、この2月に着陸してその地中からサンプルを採取して来年末には地球に持ち帰ってくる

ということですが。成果は地球の起源と進化が明らかになる可能性があるということですが。太陽系の起源に繋がる手がかりを得られる期待がかなり、胸がわくわくします。

もう一つ明けの明星を見るたびに思うことは、2500年前に世界の真理に目覚めたブツダ釈尊が同じ星をご覧になったということ。仏教の伝記にはその時の模様を次のように書き記しています。

『シツダッタは苦行をつづけること六年、身も心も衰えるばかりで、これではとてもさとりには達することはできないと知り、山を下ってネーランジャラー河でその身を清め、村長の娘スジャターの供養した乳がゆで体力を回復されました。あらたな勇気をふるいおこしたシツダッタは、ガヤ市の郊外の、とある大きな菩提樹の下に坐し、さとりをひらくまでは決してこの座より立つまいと誓い、瞑想に入られたのです。』

シツダッタの成道のときが近づくと、魔王があらわれ、空中から炎をあげた剣をもって脅迫し、あるいはまた、なまめかしい美女となって誘惑し、成道を妨げようとした。けれども魔王のすがたであらわされた外からの脅威にも、内からの煩惱にもうちかかって、十二月八日、あかつきの明星がひときわ強くまたたきとき、苦悩の根源である無明(むみやう)

をうち破って、真実の智慧(さとり)をえられたのでした。このとき三十五歳でした。』

ひときわ輝くあかつきの明星に照らされた釈尊と同じ星を見る私とに、その一瞬一体感を覚えるのは不思議です。いや時間と空間を超えた真実の世界が顕現したといってもよいのではないのでしょうか。すべてを対象化して考え、見ることしかできない人間の思考を無明というのです。人間の尺度は時間や距離を感じる妄想に閉じこめられています。だから短いとか長いとか、大きいとか小さいとか、多いとか少ないとか勝手に線を引いて右往左往しているのです。

800年前、親鸞聖人も修行された比叡山で、また流罪地越後であかつきの明星をご覧になられたことでしょうか。その時の心境は分かりませんが、「すべては一つである」ことにきづかされたに違いありません。

華嚴経には「一即一切(いっそくいっさい)一切即一(いっさいいっそくいち)」との表現があります。対立するように見える二つのことがら・ものが実は一体不離であるということ。あらゆるものは平等に密接に関係し合っており、全体の中に個があり個の中に全体がある、二つの対立していると思われる個が本質的にはそのまま同一のものであるという考え方です。

凡夫である人間の思考は境を作りますがさと(仏)の世界には境がありません。禅の世界をもって真理を表明した道元禅師の有名なことばに、

「自己をはこびて方法を修証するを迷とす、万法すすみて自己を修証するはさとり

なり。」(正法眼蔵)

とありますが、自分の力で世界の真実をつかむ、つまり悟りを得るといえるのは迷いである。世界がむこうからやってきて、真実の中に自分が取り込まれ、真実と一体化するのが悟りであるというのです。だから「只管打坐(しかんたざ)」といって、「余念を交えず、ひたすらに座禅をすること」を示しました。

親鸞聖人は「唯念仏(すべては南無阿彌陀仏ひとつ)」と説かれました。それはどういうことかといえば、阿彌陀さまの救いのはたらきは無明に閉ざされた私たちの心を場としてはたらいっているという意味で、ひとつになるとは、「川と海の譬え」(教行信証)を通して、どんな川の水も、広大な海に流れればひとつになる、即ち海の潮の一味に融かされることとであると明確に示されました。

心得なければならぬのは、天体の謎、宇宙の不思議を知ることと同時に人間の小ささ愚かさを知ることでもあります。決して人間の偉大さを誇ることはありません。

人間の知性によるめざましい科学と技術の進歩は、私たちに多くの恩恵を与えていますが、地上では悲惨な事件が後を絶ちませんが、親からの暴力を受けて「けられて今もいたい」「先生、どうにかできませんか」との10歳の少女の悲痛な叫び、「ゆるしてください おねがいします」と覚えたての文字で書いた悲壮な思いでつづった5歳の少女の手紙は、親だけでなく社会に宛てた手紙でもあります。

広大な大宇宙に瞬く星の光は誰でもどこからも見ることが出来ます。人の心に差し込む深い光である事を忘れてはなりません。

【寺灯雑記】

○新会員の加入で仏婦が総会と新年会

1/12

新年度の仏教婦人会年次総会は新しく2名の会員の加入があり、32名が出席して開催されました。

1月16日は親鸞聖人のご正忌に当たるので会旗が飾られたなか、冒頭に坊守さんの代表焼香に合わせて合掌礼拝し、みんなで正信偈を唱和しました。

総会では昨年度の事業報告、会計報告、新年度の事業計画案、予算案が原案通り承認されました。そして本年度の法座においては、法語カレンダーの「心に響くことば」を取り上げ学ぶことにしました。また活動方針として、お聴聞に励み、お寺の行事に積極的に参加、法座後の有志によるヨガも継続していくことを確認しました。

場を会館に移して催された新年会は昼食を囲みながら賑やかに歓談したあと、お二人のあてやかな舞踊、前住さんの落語披露を楽しみ、ゲームなどで会場は無邪気な歓声につつまれました。

○特有な「いのちの居場所を考える会」

1/22

2、3か月ごとに当寺を会場として開く「いのちの居場所を考える」会合は北国分に住まいされる「場の思想」で著名な清水博先生の理論を学ぼうとする内外の有志の集いです。

今回は9人が参加し、河南さんの司会で清水先生からのメッセージをもとに共に生きていく原理を探り、様々な立場から互いの意

見を交換しました。

次回会合は4月9日(火)10時〜12時。関心のある方はどなたでも参加できます。

○仏社の新年度総会で新役員が決まる

1/27

仏教壮年会の年次総会と新年会は準会員を含めて21名が出席して午後2時から開かれました。今年度は役員改選が行われ、新会長に山奥努さんを選出、次の方々が役員としてご苦勞いただくことになりました。

- ・会長 山奥努さん
- ・副会長 多田羅健二さん。

- ・同 盛田好一さん

- ・同 村田大喜夫さん

- ・監事 横田豊一さん

- ・理事 河合功さん、福島道宏さん

- ・同 石井保さん、宇佐美勇さん

- ・同 福島秀昭さん、原山建郎さん

尚、総会では壮年会の活動に対し種々の意見が出ましたが全員一致して壮年会活動を積極的に推進していくと決議されました。特に年6回の法座ではその都度のテーマにそって仏法を学び話し合いを通じた各自の意見交換の場とすることにしました。そして最後に3期7年にわたり会長を務めた石井保さんにご住職より感謝の記念品が渡されました。長年ご苦勞様でした。

就任の御挨拶 会長 山奥努

この度壮年会会長に就任いたしました。私は中原寺にお世話になり、仏法(浄土真宗)の教えを受けてお参りさせて頂き、その中

で壮年会会長の大役をお受け致しました。力量不足では御座いますが、副会長と共に努力してまいります。

また、壮年会の方々のお力を頂き、門徒の方々の壮年会入会を促進して、ともに壮年会を通じて浄土真宗を学んでは如何でしょうか。

※訂正とお詫び

宿縁1月号の文中「IT(人工知能)」は、「IT(コンピュータ)やデータ通信に関する技術」の誤りでした。

【知ってほしい浄土真宗の心得】

☆「会葬御礼状」(例文)

謹啓 ○○○○儀 去る○月○日 ○○歳を一期として浄土に往生いたしました。

本日故人の葬儀に際しましてはご多忙中にも拘わりませぬ態度でご会葬くださり且つ誠に丁寧なる御弔意並びに御香資を賜わり有難く厚く御礼申し上げます。

尚、故人が生前中賜りました格別のご懇情に対しましては併せて厚く御礼申し上げます。

早速拝眉の上、御礼を申し上げるべき処略儀ながら書中にて御礼申し上げます。合掌

(右は浄土真宗の心得の基本例文の一つとしてご理解ください)

☆予告!

3月21日の彼岸会法要の講師医師田畑正久先生と当日午前中に懇話会を予定です。

【法座・行事の案内】

○壮年会法座

\*二月九日(土) 三時

2月の法語カレンダー「心に響くことば」をテーマに住職より法話を聞いたあと参加者で話し合いをします。

○子育てサロン(パンダっ子)

\*二月十二日(火) 十一時〜二時

子育て中の親とお子さんが一緒に遊んで話を聞いたりおしゃべりしたり自由な空間を楽しむ地域に開かれた場です。

○常例法座

\*二月十七日(日) 一時

講師：渡邊恒行師(船橋浄興寺)

正信偈のお勤めと法話を聴聞します。

○門信徒会役員会

\*二月十七日(日) 三時半

○和讃に学ぶ(愚禿悲嘆述懐)

\*二月二十三日(土) 二時

337「五濁増のしるしには…以下6首」を前住職の解説で学びます。

○婦人会法座

\*三月二日(土) 一時

テーマ…3月の法語カレンダー「心に響くことば」

【二月の掲示板のことば】

お法(みのり)の声が耳に届かないのはあなたの頭が上がっているからです